

先生各位

淋菌・クラミジアトラコマチス核酸増幅同定【PCR 法】 についての注意事項のお知らせ

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、淋菌核酸増幅同定【PCR 法】及びクラミジアトラコマチス核酸増幅同定【PCR 法】は、1本の検体で淋菌とクラミジアトラコマチス両方の同時依頼が可能です。しかし、淋菌用に1本、クラミジアトラコマチス用に1本と同一患者様で同一部位（もしくは初尿）を複数本採取されますと、病原体量が偏ることにより、検査精度の低下を来す恐れがあります。また、分泌物で採取部位を変えて複数本採取され、一方で淋菌、他方でクラミジアトラコマチスのように分けてご依頼される場合には、必ず別々の依頼書にてご依頼頂きますようお願い申し上げます。

すでにご承知のこととは存じますが、改めまして検体採取時等の注意事項を以下に示させていただきますので、ご注意、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《対象項目》 **淋菌核酸増幅同定【PCR 法】**
【コード：1821（初尿 Q-13 容器）、コード：1822（分泌物 Q-12 容器）】

クラミジアトラコマチス核酸増幅同定【PCR 法】
【コード：3346（初尿 Q-13 容器）、コード：1486（分泌物 Q-12 容器）】

《注意事項》

1. 1本の検体で淋菌とクラミジアトラコマチス両方の検査が可能です。
（同一部位での複数本採取は必要ないばかりか検査精度の低下を来す恐れがあります。）
2. 尿は必ず初尿（排尿の際の最初の部分の尿）を採取下さい。
（多量の採取は尿が希釈され検査精度の低下を来す恐れがあります。）
3. 淋菌検査においては、健常人の口腔内常在菌の一部との交差反応により、偽陽性となる可能性がありますので咽頭検体は避けてください。
4. 同一患者様で複数材料提出される場合、必ず材料毎に依頼書をご記入頂き、ご提出下さい。
（検体と依頼書に材料種別を明確にご記入下さい。）